

人権 つうしん

手をつなぎ 心ふれあう 明るい社会

(同和教育つうしん第8号より)

通算37号 平成21年(2009年)8月12日

発行 長野県教育委員会教学指導課心の支援室
発行人 町田 暁世

長野市大字南長野字幅下692-2

電話 026-235-7450

FAX 026-235-7495

Eメール kokoro@pref.nagano.jp

人権意識高揚のためにご活用いただければ幸いです

各教育事務所主催 社会人権教育研修会

104名の参加をいただき、地方事務所との共同開催で7月7日、松本合同庁舎にて研究協議会が行われました。

中信地区

全体講演

熱心に質問する参加者

演題
「女性相談の現場から」
長野県女性相談センター所長
三澤 鈴子 さん



- ・相談の場が人権の最先端 どのような相談者でも相談者の味方になるということが一番印象的でした。
- ・気持ちの柔らかな、精神的にも未熟な子どものうちから人権教育をすることが大事と言われたことが印象に残りました。
- ・市町村関係者としては情報収集やネットワークが重要であることを常に考えながら対応していきたい。
- ・夫婦 家族の見直しをするには、忙しくすごしている毎日の中で忘れがちです。普段から気をつけていきたいです。



高齢者の人権 中澤純一さん

分科会の取組

ハンセン病問題
畑谷 史代さん

- ・非常に充実していた。報告者の自ら追求めた問題意識がすばらしい。「人権」は最後は自分に返る。
- ・短い時間の中で「うん」とたくさん考え、悩みました。



- ・人権について改めて考える場にもなりました。時々こういう場に来て、人権感覚を磨いていかないと、鈍っていくなど感じました。
- ・一本のロープが手元に届いた気持ち。無理せず自然体で接する努力をしたい。



犯罪被害者の人権
間中寿一さん



- ・一人ひとりが当たり前の一人人として生活を送れないという現実を犯罪被害者という立場から深く考えることができました。
- ・グループ討議はとても有意義でした。

障害者の人権
宮下 智さん



- ・障害者の姿から、見えなものを察し、科学的な態度で支援を組み立てる大切さを教えていただきました。
- ・今日のお話をお聞きして、一歩を踏み出せそうです。

ワークショップ
草野英子さん



- ・人権を考えると、自分と向き合う事から始めるのですが、辛い事、気づかない自分、色々な発見があります。
- ・楽しく学ぶことができました。地域で役立つヒントをいただきました。

小諸市文化センターを会場に開催されました。参加者280名。

ビデオ「私たちにできること～高校生による人権演劇発表会」



・ 高校生の真面目さ、発想のみずみずしさ、世代の違いより個性の違いを感じ、若い人の力に心強さを感じました。

・ 高校生の新鮮な鋭い感性が素晴らしい。本当に「私」にできることを考えていかないといけないと思いました。

・ 外国籍の生徒がいるので、お一人のお話は大変参考になった。何がよく分からないのか、こちらも分からなかったので、保護者の方と話をしながら進めていきたい。

全体講演 外国人の人権
～共に生きる地域社会の実現に向けて～



中国語担当
森山恵さん

幅の広い人になりたいと思いました。

ポルトガル語担当
野富エジナ達さん

・ 「常識」って何だろう！？と考えさせられました。色々な文化を知り、

・ 日本にも多くの外国人の方を見かけますが、やはり、イメージがあると思います。今日の講演を聴き、その人を知らないでイメージを作ったり判断するのはよくないなあと思ったため感じました。お一人の自国に対する誇りはすばらしい。私なんて自分の日本をどれだけ知っているのか考えさせられた。自分も日本に誇りを持っていきたい。

東信地区

犯罪者の人権



木村 剛さん

・ 出所後の受入れが少なかったり扱いに差があったりで、拘留所等の更生教育が生かされないのは残念。
・ 自分が勝手に想像していたことは間違い。
・ 人権とは相手への優しさ、認めあつこと。

高齢者の人権



藤沢 雅美さん

・ 認知症になってもプライドがある。
・ 介護をしていると、こちらが高いところから見ているような気になってしまいが、親から教えられて、今に至っていることを思い出して接していきたい。

子どもの人権



島田 一生さん

・ 子ども達に何々させようとはかり考えていた。子どもたちの心の中へ入れさせてもらえるような関わりをしていきたい。
・ 一番心に残った言葉は「困った子」ではなく「困っている子」ということでした。

HIV 感染者の人権



木村 久美子さん

・ HIVは他人事でなく身近な話。しっかりと学習をし、理解することで偏見を取り除き、共生の道が広がっている。

裁判員制度



古谷 健郎さん

・ 裁判員に選ばれても冷静に判断できるよう努めていきたい。
・ 自分が選ばれても少し自信が持てる気がしました。

・ 革として生まれるまでの過程、それを支える人々の姿をより理解することで作品への思いもさらに深まると思います。

革細工体験



白鳥 貴文さん

障害者の人権



竹内 晃さん

・ バスケットボールを通して、障害者が生き生きとした人生を歩んでいるように感じた。
・ 健常者と障害者、支援する側と支援される側という境界線は無いと感じました。

ワークショップ



永池 隆さん

・ 自分が体験しながら考える、学ぶワークショップを体験しました。人を見る時、外見やうわさで本当の姿が見えにくくなつてしまっている自分に気づきました。イメージ・固定観念なく見たい。

一人ひとりが尊重され
元気が湧いてくる

北信地区

194名の参加をいただいて長野合同庁舎、県庁を
会場に開催されました。

自分をみつめ、新しい自分を発見し、出会いから学ぶ

全体講演 河野義行さん
NPO法人「リカバリー・サポート・センター」理事
『消えかかった命』救ったのはあなた

圧倒されました。久々に心が震えました。あの状況を耐え抜いた、潰れなかった河野さんの精神の強靭さ、たくましさに驚いた。明晰さもすばらしい。そして、数々の感動秘話も明かしていただきました。「話し合ってみれば、世間も捨てたもんじやない」この言葉に勇気と励ましをいただきました。



「河野さんのお話を是非お聞きしたい!」と会場は満員でした。

分科会(実践発表と討議)

【地域の取り組み】内容もあり充実した分科会でした。千曲市・小布施町の地区の取り組みについて大変分かりやすく説明され、自分の地区へ帰って参考になる部分を活用したい。

【PTA・学校の取り組み】平野小学校PTA人権教育懇談会は、子どもたちを育てる上で、親同士の話の場を持つ上でも、大切なすばらしいことだと思った。学校・PTA・地域がもっと話し合い、手をつなぐ必要を感じる。

心おだやかな中にも強い信念をお持ちの方だと感じました。お人柄がにじみ出て苦しい中を強く生き抜いた信念がほとばしるのを感じました。人権の立場、視点からサリン事件を振り返ることができ、いい勉強をさせていただきました。

【企業の取り組み】ホテル『さかえや』さんの経営理念からくる従業員への接し方に感動。自分をものさしにして人を見てしまうことが多く、違いを認め、個人の役割を作るという点が非常に参考になりました。

基礎講座(ワークショップ)楽しく過ごすことができました。今日扱ったいくつかの課題が一つひとつ皆勉強になり、グループに分かれてそれぞれの思いや活動が話せて、よい研修でした。

午前中は、「長野県の人権教育の現状と課題」同和教育を中心に「〜と題して信州農村開発史研究所の斎藤洋一さんに講演をいただきました。斎藤さんは、「高齢の方がデイサービスセンターに行きたがらないので理由を尋ねると『昔、差別をうけた』という事例もありました。結婚差別、地名総鑑をインターネットに載せる等、部落差別は残っています。差別された当事者の意見を大切に、継続的に支援していきたい。部落史の見直しに対応して専門教員の配置、人権啓発センター・隣保館を利用しての啓発活動などを通して、課題克服の実践者になれるよう教育啓発に取り組んでいきたい」と話されていました。参加者からは「同和教育を自分のこととしてとらえない人が多いというお話を聞いて、自分も本当のところはそうなのかもしれないと反省しました。これからはもっと自分の問題としてとらえ、考えていきたいと思っています。」等の感想がありました。

全体講演

南信地区

諏訪・上伊那地区138名の参加をいただいて、伊那市生涯学習センター「いなっせ」を会場に開催されました。
飯田・下伊那地区は10月26日(月)開催予定です。



【全体講演】
熱心に耳を傾ける参加者

午後の分科会は「インターネットによる人権侵害」「外国籍住民の人権」「刑を終えて出所した人の人権・犯罪被害者の人権」「ワークショップ」をテーマに開かれ、講演を受けて参加者の熱心な討議がありました。参加者からは「刑を終えて出所した人に対して頭の中で理解できていても気持ち的に全てを受け入れることができるだろうか」と思っていました。「おかえり」といって迎える心の広さが必要だと思いました。「多くの地域で外国籍住民との交流がさかんになれば、みんなが住みよい町になると思う。」とこれまでの自分を見返り、問い返す姿がありました。

分科会

平成21年度 長野県社会人権教育リーダー研修会を開催します

= 皆さまのご参加をお待ちしています =

9・14(月)

全体講演 10:20-12:20

【講師】^{キム} ^{チョソル} 金 早雪 さん (信州大学経済学部教授、長野県人権政策審議会委員)

【演題】「長野県人権政策審議会答申にかかわって」

- 同和問題、外国人の人権、大学における男女共同参画社会の実現・ハラスメント防止の取組から -

分科会 13:20-15:30

【第1分科会】同和問題について考える

講師：高橋まり子さん(佐久市望月人権文化センター)

内容：解放子ども会により12年間続けられている「いのちの駅伝」とおし、佐久市望月地区全体に広がっている「いじめや差別を許さない」取組の様子。

【第2分科会】高齢者の人権について考える

講師：坂本 圭介さん(飯綱町社会福祉協議会)

内容：認知症になった住民を優しく迎え入れようというメッセージを込めたDVD「うんまく『ポケ』りゃいれやさ飯綱町」を制作し、小学校～高校で取り組まれている人権学習についての発表。

【第3分科会】地域全体で取り組む人権教育について考える

講師：土屋 博邦さん(前小諸市同和政課係長)

内容：平成18～20年度、文部科学省指定「人権教育総合推進地域事業」における地域、学校が一体となった人権教育の推進(小諸市)についての発表。

【第4分科会】ハンセン病問題について考える

講師：畑谷 史代さん(信濃毎日新聞社論説委員)

内容：ジャーナリストとしての立場からとらえたハンセン病問題の現状をお聞きし、社会のあり方について考えます。

【第5分科会】語り合い気づこう人権

講師：永池 隆 さん(北信教育事務所)

内容：ワークショップ演習

9・17(木)

全体講演

10:20-12:20

【講師】^{さいとう} ^{けんじ} 齋藤 賢治 さん

(NHK報道局社会番組部
ディレクター
前NHK大阪放送局報道部
専任ディレクター)

【演題】「同和問題の伝え方」

- 報道の現場から -

トークセッション

13:20-15:30

写真展(終日)

【テーマ】

同和問題について考える

講師：新大阪人権協会の方

同和地区をルーツに持つ若者

写真展の被写体(モデル)になられた方

内容：NHKハイビジョンふるさと発「ルーツを見つめる～大阪・若者たちの肖像写真～」に登場する若者数人と会場の参加者を含めたトークセッションを行い、同和問題への認識を深めます。

全体講演、トークセッションとあわせて、新大阪人権協会の協力により写真展「対岸の肖像～BURAKU とのかけ橋～」をあんずホールにて終日行います。

中 南 信 信 会 会 場
総 合 教 育 セ ン タ ー



東 北 信 信 会 会 場
千 曲 市 更 埴 文 化 会 館

